

1 学力状況調査について

今年度の県基礎学力調査及び全国学力・学習状況調査は5月に実施されました。これらの調査は、児童の学習の定着状況を把握し、今後の学習指導の改善に役立てようとするものです。

県基礎学力調査は、第4学年の「国語科・算数科」、第6学年の「社会科・理科」で実施し、全国学力・学習状況調査は、第6学年の「国語科・算数科」で実施しました。また、津幡町として第5学年の「国語科・算数科」の学力調査も、同時期に行っています。

なお、調査により測定できるのは学力の一部ですが、調査の意義を踏まえ、笠野小学校の児童の学力や生活力の向上に向けた改善に役立てていくよう努力していきます。

2 結果について

学年	国語	算数	社会	理科
4年	県平均より ◎ (10%以上上回る)	県平均より ◎		
5年	全国平均より ○	全国平均より ◎		
6年	県平均より ○ 国平均より ◎	県平均より △ 国平均より →	県平均より ▲	県平均より △

◎5%以上上回る ○1~5%上回る →平均と同程度 △1~5%下回る ▲5%以上下回る

3 成果 (○) と課題 (★) と今後の取組 (◇)

国 語

- 漢字や修飾語、筆順など語句の力が定着している。
- 図鑑や事典の使い方が定着している。
- ★内容を的確に表現する力が弱い。
- ◇1時限の終わりのまとめや振り返りを書く活動で、キーワードや書くべき内容を取り入れて書くようにする。

算 数

- 基本的な計算力・知識が身につけている。
- 数の並び方のきまりを捉える力がある。
- ★「直角」「垂直」「並行」等の用語の定義が定着していない。
- ★折れ線グラフの読み取りができていない。
- ◇算数用語を使って、聞かれていることに正しく考えを書いたり説明したりする学習を意識して取り入れる。

社 会

- 飲料水を供給する事業に関する情報を、資料から読みとることができる。
- 消費者の仕事の工夫を理解している。

- ★領土をめぐる問題で、竹島問題がどの国との間でおこっているのか理解していない。
- ★販売の仕事の工夫（複数資料を基に考察・表現）では、1つの資料からわかることしか書かれていなかった。資料が何を意味するのか考察する力をつけるとよい。
- ◇複数資料を与え、そこから分かること、相違点、疑問を導く授業を繰り返す。板書とノートに資料を位置づけ、個人思考の時間を確保する。
- ◇振り返り、まとめを社会用語を用いてノートに記述する。

理科

- 太陽の動き、日なたと日陰の学習や月の見え方の学習についての理解はよい。
- 湯気の状態を正しく理解している。
- ★体積と重さの関係や電流の大きさとモーターが速く回る関係など、実験結果から考察する力が弱い。
- ★顕微鏡の使い方の手順が曖昧になっている。
- ◇実験結果と関連づけながら、根拠を明らかにして説明する時間を設定する。（ノート記述）
- ◇実際に実験器具を使うこと、体験することを重視する。

質問紙から

- 学校は好きだ（100%）
- 読書は好きだ（100%）
- 学校での出来事について、家の人と話をしている（100%）
- ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある（100%）
- ★学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強する（71%）
- ★わからなかったことをもう1度勉強し直すことがすき（71%）
- ◇すすくぐんぐんカードを活用して家庭学習の定着を励ましたり、テスト直しの時間を確保したりする。

ご家庭と学校で協力して取り組んでいくこと

<主体的に学ぼうとする姿勢の育成>

家庭学習や家庭での読書は、おおむね定着している傾向にあります。継続して取り組むことで基礎学力がついてきます。ご家庭でも子供たちの主体的な学びを後押ししてあげてください。

<読む力の育成>

新聞を読んで内容をまとめる学習を中学年と高学年で取り組みます。ご家庭でも、世の中のニュースを話題にしたり、新聞を手にとる機会が増えたりするよう声かけ等よろしく願いいたします。

<書く力の育成>

1時間の授業の中で、考えを持つ場面、まとめやふり返りの場面等で、書く活動を取り入れています。ご家庭でも時折お子さんと一緒にノートを見て、頑張りを褒め、励ましてあげてください。日記や作文を書いたときは、見たり聞いたりしてあげてください。書く力・説明する力の育成だけでなく、心と心の絆を育むよい機会となります。

